

デジタル化がスムーズに行われるよう、経済的弱者の負担を軽減する支援策を示す予定です。国の施策を踏まえながら、高齢者世帯等への独自の支援策についても検討します。

避難所となる学校の防災機能の整備推進について

問 台東区地域防災計画によれば、災害時に防災拠点となる公共施設の約8割を学校が占め、避難場所として被災者を受け入れるのみならず、地域住民への必要な情報の収集・発信や、食料等の必要物資の供給など、様々な役割を果たす拠点となっている。ところが、避難所として備えるべき防災機能の実態が必ずしも整合していない。避難所機能について、

更に検討し、整備を進めるべきと考えるがどうか。**答** 区内47避難所のうち41か所が学校であり、そのうち38校に備蓄倉庫があります。未整備の避難所については、早急に整備していきます。トイレについては、各施設のトイレを補完するものとして、簡易トイレ、マンホール用トイレの備蓄を進めています。自家発電設備は7か所に整備し、加えて小型発電機を備蓄し、各避難所において使用できるようにしています。地域防災計画の修正に合わせ、計画的に備蓄食糧等の増量を図るとともに、ダンボール製の間仕切りセットを試験的に導入します。今後も、避難所生活の不安や、不便さが緩和できるよう機能強化を図ります。



もてぎ たかよし
茂木 孝孔 (日本共産党台東区議会議員団)

後期高齢者医療制度について

問 ①区長はこれまで「保険制度存続のために必要な制度」と答弁してきたが制度の実態、世論の動向からも認識を変えるべきではないか。また所信表明で触れなかった理由を伺う。②保険料について低所得者ほど負担増の割合が高いことが明らかになったが台東区ではどうか、実態を明らかにすべきではないか。③区長会の副会長である吉住区長が率先して制度の廃止を表明し、国に意見書を上げるべきではないか。④保険料滞納者の保険証取り上げは行わないことを表明してほしい。また、健康診査や葬祭事業は将来にわたり都区の責任で保障すべきではないか。

答 ①国民皆保険の持続のため必要な制度と認識しています。国において検討しているので所信表明では述べていません。②都及び区市町村では、低所得者対策として一般財源を投入した結果、全国で最も低い水準です。本区における保険料は集計結果が整次第報告します。③本年6月に、東京都広域連合が制度の安定的な運営を図るよう、国に対し要望しています。④資格証明書の発行の運用にあたっては、広域連合の区

市町村窓口として適切に対応します。健康診査や葬祭費は、現在も国民健康保険と同様に実施しています。

谷中のまちづくりについて

問 ①谷中地区の都市計画道路の計画は、谷中の環境を左右する問題である。東京都へ要請し計画を白紙に戻すべきではないか。②谷中コミュニティセンターと防災ひろばの一体的整備について、調査・研究の目的を明らかにしてほしい。また、マスタープランをどのように受け止めているのか。できるだけ早く着手すべきではないか。③JR日暮里駅の谷中口エスカレーター設置については、早期設置に向けて、荒川区と協同してJR東日本に働きかけるべきではないか。**答** ①都の「区部における都市計画道路の整備方針」の中で、まちづくりと整合のとれた見直し検討を行うとし、都及び関係区で検討会を設置しました。今後も連携して取り組みます。②今年度の調査・研究は、都市防災上の課題等の基礎的な調査を行うものです。地域の皆様から提出いただいたマスタープランは、貴重な提案として参考にします。コミュニティセンターや防災広場等のあり方を含め、様々な観点から検討し、5年後の着工を目標に努力します。③駅利用者の安全性、利便性の観点からも、バリアフリー化を図る必要があると認識しており、改めて荒川区と共にJRに書面要望するなど実現に向けて努力します。



たなか のぶひろ
田中 伸宏 (いぶきの会)

高齢者就労対策について

問 高齢者の人口が増加する中、高齢者の意欲や能力に応じた多様な働き方ができる社会を築く必要がある。また、団塊の世代の知識と能力の活用は、労働力不足を解消する面からも大切であると考え。高齢者の就労については、シルバー人材センターの果たす役割がますます重要となるが、働く意欲のある高齢者に対し、どのような就労対策を行っていくのか、区長に伺う。**答** 議員ご指摘のとおり、団塊世代の方々は、新たな労働力でもあり、長年培った知識と能力は貴重な財産です。シル

バー人材センターでは、職域の拡大や研修の充実を図り、さらに、庁内検討組織を設置し、貴重な人材を活用できる仕組みづくりの検討を始めたところです。

老人保健施設千束の跡地利用について

問 (仮称)新台東病院には150床の老人保健施設が併設されるが、区内のベッド数は、なお不足している。老人保健施設千束の跡地を、サテライト型施設として活用してはどうか。また、老人保健施設千束の一部を、地元の要望を反映した地域活性化のための施設に転用してはどうか、区長に伺う。**答** 老人保健施設千束は、国の補助金を受けて建設した福祉施設であることから、その転用には様々な制約があります。現在、国や都と協議を行い、他の福祉施設転用への可能性や施設改修計画との整合性など、様々な観点から検討を行っています。今後、出来るだけ早い時期に、跡地利用の案を提示します。



ふじひら かずお
藤平 一雄 (台東区議会区民クラブ)

環境問題について

問 ①区の木さくら・区の花あさがおが制定されているが、区民に対し、あさがおの歴史的背景や由来まで含めて明確に説明すべきと思うがどうか。②緑のカーテンや屋上緑化などは温暖化対策としてどの程度効果があるのか。また、その効果を啓発するべきと思うがどうか。③隅田川の水は水防訓練が行われるほど水質が改善されてきており、泳ぐことが可能であることを示す水質のデータもある。新タワー建設を期に、隅田川での水泳大会が実現されれば、台東区への誘客につながると思うがどうか。**答** ①あさがおは、奈良時代に中国から渡来したものとされていますが、今日まで生態系に被害を与えたという記録はなく、影響はないと考えます。本庁舎に「あさがお」による緑のカーテンを設置し、これを契機に理解を深めていただくよう努めます。②既設置施設で効果検証したところ、緑のカーテンで最大3.4度の室温の低下、屋上緑化で最高で約15%のエネルギー使用量の削減を確認しました。今後はこれらの効果

も広く区民の皆様にお知らせしながら、温暖化対策やヒートアイランド対策を進めます。③安全確保や河川管理者等との調整など様々な課題がありますが、流域の自治体や都と連携を図りながら、水質の向上を目指し、隅田川がさらに区民の皆様から愛される川となるよう努力していきます。

吉原地区まちづくりについて

問 ①吉原地区は台東区の歴史を語るうえで欠かせない中心的な地域である。吉原地区を疎外してまちづくりは論じることが出来ないと考え。おいらん道中は商店街の活性化に寄与し、老若男女問わず多くの人に関心を持ったイベントとして成り立っているがどうか。②浅草地区のまちづくりに比べて、吉原地区の取り組みは遅れている。吉原地区の健全なまちづくりのため、区も積極的な取り組みをすべきと考えるがどうか。**答** ①議員ご指摘の地域の文化は、歌舞伎などの伝統芸能の中に、江戸時代から今に受け継がれているものと認識しています。おいらん道中については、区が支援している地域イベントの中で、江戸の歴史文化を紹介するものの一つとして、実施されています。区としては、地域の文化を紹介するイベントとして、引き続き支援していきます。②この地域の特性を継承し、育んでいくためには、住民主体のまちづくりが必要不可欠です。地域の皆様が望まれるまちづくりに対して、私としても様々な支援を行っていきたくと考えます。

2面・3面に掲載したもの以外の一般質問の項目

実川 利隆 (台東区議会自由民主党)	1. 国立西洋美術館の「世界遺産」登録について 2. 広報官設置について 3. 新学習指導要領における「歴史」にかかわる部分の改正と教育委員会の対応について 4. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について
水島 道徳 (台東区議会区民クラブ)	1. 街づくりの推進について 2. 学校の適正規模適正配置基本方針について

杉山 全良 (台東区議会公明党)	1. (仮称)区民防災指導員の育成とその活動について 2. 台東区らしいエコツーリズムの推進について 3. 「学校支援ボランティア」の体制づくりについて 4. 「学校運営連絡協議会」について
茂木 孝孔 (日本共産党台東区議会議員団)	1. 新銀行東京について 2. 旧福井中跡地活用について
田中 伸宏 (いぶきの会)	1. 地域包括支援センターについて
藤平 一雄 (台東区議会区民クラブ)	1. (仮称)新台東病院等の開設について 2. 防災広場「初音の森」について 3. 二輪車の駐車場の整備について 4. 健康保険を使用しない人に努力賞を